

平成 27 年度第 2 回山形県公立大学法人評価委員会議事要旨

- 1 日 時 平成 27 年 7 月 28 日 (火) 午後 2 時から午後 4 時 45 分まで
- 2 場 所 山形県庁 1001 会議室
- 3 出席者 <委員>
阿部委員長、中條委員、澤邊委員、武田委員、二宮委員、山下委員、野崎委員、
渡部委員
< 県 >
中山健康福祉部長、椎名学事文書課長、須藤健康福祉企画課長 ほか
<山形県公立大学法人>
鈴木理事長、井上理事 ほか
<公立大学法人山形県立保健医療大学>
青柳理事長、川崎理事、豊嶋理事、伊橋理事 ほか

概要：

1 開会

2 議事

(1)山形県公立大学法人

①平成 26 年度業務実績報告書に対する評価について

山形県公立大学法人より平成 26 年度業務実績報告書について説明を行った後、大項目ごとに質問、意見交換をし、大項目別に評価を行った。業務実績評価書の内容については、委員長と事務局で案を作成し、委員の意見を聞いたうえで、最終的に評価書を取りまとめることとされた。

大項目別評価は以下のとおり。

大項目	評価
第 2 の 1 山形県立米沢栄養大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置	4
第 2 の 2 山形県立米沢女子短期大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置	3
第 3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	4
第 4 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置	4
第 5 自己点検、評価及び情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置	4
第 6 その他業務運営に関する目標を達成するためにとるべき措置	4

<主な質疑・意見>

【授業内容及び方法の改善について】

- 教員に学長の理念を浸透させ、教育の質の向上に繋げて欲しい。(二宮委員)

【学生の確保について】

- 今後も入学者アンケートなどを継続して実施し、志願者確保に向けての入試分析の取組みを進める必要がある。(山下委員)
- 管理栄養士の養成だけではなく、健康と栄養のスペシャリストを養成するという視点も重要である。(山下委員)
 - ⇒ 入学者アンケートのほか個人面談も実施し、学生の意思確認や進路の把握を行い、学生の個別に指導を行っている。広い意味での健康と栄養のスペシャリストの養成も意識しており、米沢女子短期大学の講師を迎えた教養教育なども行っている。両大学の交流・連携を進めたい。(鈴木理事長)
- 今後、学生への満足度調査は予定されているか。(野崎委員)
 - ⇒ 学生の満足度調査は非常に重要なので、今後、行っていきたい。(鈴木理事長)

【関係機関との情報交換等について】

- 管理栄養士の役割は今後、どんどん広がっていく。現行の取組みも含め、積極的に研究成果を発信して欲しい。(山下委員)

【生活文化研究所について】

- より地域に開かれた形となるよう機能充実を図る必要がある。(渡部委員)
 - ⇒ 研究成果発表については、今年度から地域に開く形で行っており、一步一步進めているところ。
- 目的や取組み内容について、一般の人にも分かりやすい形で見えるようにして欲しい。(武田委員)
 - ⇒ 名称も分かりにくいこともあり、法人として両大学一体となって地域に発信する形にできないか検討している。(鈴木理事長)

【情報公開の推進について】

- 新しい大学紹介 DVD の作成などが行われているが、広報活動について、年度計画を上回って実施しているとまでは認められない。(二宮委員)

②中期目標に係る業務実績報告書に対する評価について

山形県公立大学法人より中期目標に係る業務実績報告書について説明を行った後、大項目ごとに質問、意見交換をし、大項目別に評価を行った。業務実績評価書の内容については、委員長と事務局で案を作成し、委員の意見を聞いたうえで、最終的に評価書を取りまとめることとされた。

大項目別評価は以下のとおり。

大項目		評価
第2	大学の教育研究等の質の向上に関する目標	3
第3	業務運営の改善及び効率化に関する目標	3
第4	財務内容の改善に関する目標	3
第5	自己点検、評価及び情報の提供に関する目標	4
第6	その他業務運営に関する目標	4

<主な質疑・意見>

【研究成果の向上及び研究成果の発信について】

- 栄養大開学年における日本栄養改善学会地方会開催は素晴らしい事業であった。今後はさらに関係団体との強固な連携をはかり効果的な地域貢献活動を推進して欲しい。(二宮委員)
- 本県では、野菜づくり等における女性の活躍が注目されている。大学と地域で活躍している団体等との連携を推進して欲しい。(渡部委員)

【業績評価制度について】

- 業績評価の仕方については、教員をエンカレッジする仕組みを考えていくと良い。チームとして1つの方向を向いていいものを出していこうとするような評価の仕方を考えて欲しい。(山下委員)

【外部資金の獲得について】

- 教員の業務の整理など外部研究資金の獲得に向けた環境を整えることが必要である。(澤邊委員)
- 学生が一番大事だという観点で研究と教育のバランスを考えていく必要がある。(武田委員)

(2) 公立大学法人山形県立保健医療大学

①平成 26 年度業務実績報告書に対する評価について

公立大学法人山形県立保健医療大学より平成 26 年度業務実績報告書について説明を行った後、大項目ごとに質問、意見交換をし、大項目別に評価を行った。業務実績評価書の内容については、委員長と事務局で案を作成し、委員の意見を聞いたうえで、最終的に評価書を取りまとめることとされた。

大項目別評価は以下のとおり。

大項目		評価
第 2	大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置	4
第 3	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	4
第 4	財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置	4
第 5	自己点検、評価及び情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置	4
第 6	その他業務運営に関する目標を達成するためにとるべき措置	4

<主な質疑・意見>

【県内就職率について】

- 看護学科の平成 26 年度卒業生の県内就職率について、例年と比べてどうか。
(渡部委員)
⇒ 年によって違いがあるが、平成 26 年度卒業生については前年度を下回ったところ。
(青柳理事長)
- 県内定着を推進していくために、県内就職率が低下した要因分析とその対応策の必要性を考えていかなければならない。(山下委員)
- 県内定着は難しい課題であるが、保健医療大学には頑張っていたきたい。
(中條委員)

【「山形発・地元ナース養成プログラム」について】

- 「山形発・地元ナース養成プログラム」の進捗状況は。(武田委員)
⇒ 小規模病院等を対象に、ブラッシュアッププログラムをスタートさせたところ。
(青柳理事長)

②中期目標に係る業務実績報告書に対する評価について

公立大学法人山形県立保健医療大学より中期目標に係る業務実績報告書について説明を行った後、大項目ごとに質問、意見交換をし、大項目別に評価を行った。業務実績評価書の内容については、委員長と事務局で案を作成し、委員の意見を聞いたうえで、最終的に評価書を取りまとめることとされた。

大項目別評価は以下のとおり。

大項目		評価
第2	大学の教育研究等の質の向上に関する目標	4
第3	業務運営の改善及び効率化に関する目標	4
第4	財務内容の改善に関する目標	4
第5	自己点検、評価及び情報の提供に関する目標	4
第6	その他業務運営に関する目標	4

<主な質疑・意見>

【大学の今後について】

- 今後、看護師養成所が増えていく中で、看護大学としての存在意義を戦略的に検討すべきである。(山下委員)

【県内定着について】

- 県外出身の学生が県内に就職してもらえるよう頑張っていたきたい。(澤邊委員)
- 県外の方と触れ合うことも大事であり、そういった意味でも県外出身の学生が県内に残ってもらえるような方策を考えていただきたい。(野崎委員)

3 閉会